

令和6年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年8月14日

上場会社名 株式会社バルコス

上場取引所

東

コード番号 7790

URL <https://www.barcos.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 敬

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 佐伯 英樹

(TEL) 0858(48)1440

四半期発行情報提出予定日 令和6年8月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年12月期第2四半期の連結業績(令和6年1月1日～令和6年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 令和6年12月期第2四半期 | 2,449 | 48.3 | 113 | 172.0 | 114 | 147.8 | 48 | - |
| 令和5年12月期第2四半期 | 1,650 | △32.8 | 41 | △78.7 | 46 | △76.5 | 3 | △97.5 |

(注) 包括利益 令和6年12月期第2四半期 54百万円(898.6%) 令和5年12月期第2四半期 5百万円(△97.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 令和6年12月期第2四半期 | 42. 37 | - |
| 令和5年12月期第2四半期 | 2. 64 | - |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 令和6年12月期第2四半期 | 4,099 | 545 | 13.3 |
| 令和5年12月期 | 4,195 | 491 | 11.7 |

(参考) 自己資本 令和6年12月期第2四半期 545百万円 令和5年12月期 491百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 令和5年12月期 | - | 0. 00 | - | 0. 00 | 0. 00 |
| 令和6年12月期 | - | 0. 00 | | | |
| 令和6年12月期(予想) | | | - | 0. 00 | 0. 00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年12月期の連結業績予想（令和6年1月1日～令和6年12月31日）

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通期 | 5,065 | 31.3 | 329 | 177.6 | 301 | 150.4 | 157 | 267.8 | 138. | 17 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名)株式会社 immunity、除外 1社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 令和6年12月期2Q | 1,140,000株 | 令和5年12月期 | 1,140,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 令和6年12月期2Q | -株 | 令和5年12月期 | -株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 令和6年12月期2Q | 1,140,000株 | 令和5年12月期2Q | 1,140,000株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料4ページ目「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| （1）経営成績に関する説明 | 2 |
| （2）財政状態に関する説明 | 2 |
| （3）キャッシュ・フローの状況の分析 | 3 |
| （4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| （1）四半期連結貸借対照表 | 5 |
| （2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| （4）四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| （継続企業の前提に関する注記） | 11 |
| （株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） | 11 |
| （セグメント情報） | 11 |
| （収益認識関係） | 13 |
| （1株当たり情報） | 13 |
| （重要な後発事象） | 13 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（令和6年1月1日から令和6年6月30日）における世界経済は、個人消費の回復やインフレ率の低下が見られるものの中国の経済成長の鈍化に加え、地政学的リスクの継続など、不透明かつ不安定な状況が継続しています。国内経済においては、長引く円安の影響により国内物価の上昇に歯止めが効かず、国内個人消費に暗い影を落としております。

このような状況下において当社グループでは、令和6年度のグッドラックウォレットの新作ポンテピッコラは昨年以前のグッドラックウォレットより更に値段を下げた価格で販売し、好調な売上を維持しております。第1四半期連結累計期間では予想を超える受注により生産が追いつかず納品ができない状況が続いておりましたが、当第2四半期連結会計期間において生産が追いつき十分な在庫を確保し納品を進めることができたため、前年同期に対し増収、増益を達成することができました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,449,021千円（前年同期比48.3%増加）、営業利益は113,933千円（前年同期比172.0%増加）、経常利益は114,037千円（前年同期比147.8%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は48,299千円（前年同期比1,506.4%増加）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

（ライフスタイル提案事業）

ライフスタイル提案事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,290,324千円（前年同期比50.8%増加）、セグメント利益265,135千円（前年同期比56.5%増加）となりました。

（メディアクリエイティブ事業）

メディアクリエイティブ事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高147,524千円（前年同期比24.4%増加）、セグメント損失17,022千円（前年同期はセグメント損失25,319千円）となりました。

（不動産事業）

不動産事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高11,172千円（前年同期比19.3%減少）、セグメント利益991千円（前年同期比55.6%減少）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,884,032千円（前連結会計年度末は、1,994,716千円）となり110,684千円減少しました。商品が125,589千円増加したものの、受取手形及び売掛金が252,546千円減少したことが主な要因であります。

（固定資産）

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、2,215,858千円（前連結会計年度末は、2,200,455千円）となり15,402千円増加しました。繰延税金資産が21,043千円増加したことが主な要

因であります。

（流動負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,607,571千円（前連結会計年度末は、1,644,478千円）となり36,907千円減少しました。未払法人税等が70,674千円増加したものの、支払手形及び買掛金が44,795千円、未払金が42,136千円減少したことが主な要因であります。

（固定負債）

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、1,946,934千円（前連結会計年度末は、2,059,486千円）となり112,552千円減少しました。長期借入金が101,439千円減少したことが主な要因であります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、545,385千円（前連結会計年度末は、491,207千円）となり54,178千円増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益が48,299千円となったことにより利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

（3）キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ55,626千円増加し、735,617千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、229,786千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益114,037千円、のれん償却額43,885千円、売上債権の減少額315,686千円、棚卸資産の増加額121,881千円、仕入債務の減少額44,856千円、未払金の減少額88,570千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、84,983千円の支出となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出15,018千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出47,896千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、94,764千円の支出となりました。これは主に、長期借入れによる収入100,000千円、長期借入金の返済による支出191,055千円によるものであります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年12月期の連結業績予想につきましては、令和6年2月14日に公表しました業績予想からの変更はありません。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (令和5年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (令和6年6月30日) |
|---------------|-------------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 740,175 | 795,802 |
| 受取手形及び売掛金 | 558,922 | 306,376 |
| 商品 | 482,972 | 608,562 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,753 | 7,053 |
| 返品資産 | 9,914 | 1,451 |
| 前渡金 | 111,130 | 127,434 |
| その他 | 87,924 | 37,392 |
| 貸倒引当金 | △76 | △41 |
| 流動資産合計 | 1,994,716 | 1,884,032 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 299,312 | 290,646 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 9,083 | 7,286 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 6,498 | 5,435 |
| 土地 | 363,972 | 363,972 |
| 建設仮勘定 | 660 | 880 |
| その他（純額） | 249 | 917 |
| 有形固定資産合計 | 679,776 | 669,138 |
| 無形固定資産 | | |
| 商標権 | 507,243 | 492,190 |
| のれん | 790,953 | 781,056 |
| その他 | 7,387 | 9,515 |
| 無形固定資産合計 | 1,305,584 | 1,282,762 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 36,950 | 47,350 |
| 長期前払費用 | 14,166 | 11,759 |
| 繰延税金資産 | 69,097 | 90,141 |
| その他 | 94,879 | 114,705 |
| 投資その他の資産合計 | 215,094 | 263,957 |
| 固定資産合計 | 2,200,455 | 2,215,858 |
| 資産合計 | 4,195,172 | 4,099,891 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (令和5年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (令和6年6月30日) |
|---------------|-------------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 63,027 | 18,232 |
| 短期借入金 | 850,000 | 850,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 353,920 | 364,304 |
| 未払金 | 240,019 | 197,883 |
| 未払法人税等 | 26,302 | 96,977 |
| リース債務 | 2,624 | 2,447 |
| 賞与引当金 | 11,654 | 12,716 |
| 返金負債 | 13,161 | 2,961 |
| その他 | 83,768 | 62,049 |
| 流動負債合計 | 1,644,478 | 1,607,571 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,841,263 | 1,739,824 |
| リース債務 | 1,233 | - |
| 繰延税金負債 | 168,763 | 159,357 |
| 退職給付に係る負債 | 32,971 | 33,650 |
| 資産除去債務 | 8,213 | 8,220 |
| その他 | 7,042 | 5,882 |
| 固定負債合計 | 2,059,486 | 1,946,934 |
| 負債合計 | 3,703,965 | 3,554,505 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 30,000 | 30,000 |
| 資本剰余金 | 22,000 | 22,000 |
| 利益剰余金 | 432,946 | 481,245 |
| 株主資本合計 | 484,946 | 533,245 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,268 | 12,715 |
| 為替換算調整勘定 | △7 | △574 |
| その他の包括利益累計額合計 | 6,261 | 12,140 |
| 純資産合計 | 491,207 | 545,385 |
| 負債純資産合計 | 4,195,172 | 4,099,891 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 1,650,954 | 2,449,021 |
| 売上原価 | 413,139 | 715,298 |
| 売上総利益 | 1,237,814 | 1,733,723 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,195,922 | 1,619,789 |
| 営業利益 | 41,892 | 113,933 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,961 | 1,154 |
| 為替差益 | 19,980 | 4,117 |
| 受取配当金 | 328 | 1,674 |
| 補助金収入 | 1,466 | 1,062 |
| その他 | 3,085 | 4,458 |
| 営業外収益合計 | 27,821 | 12,467 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,055 | 11,857 |
| シンジケートローン手数料 | 13,000 | - |
| その他 | 1,637 | 505 |
| 営業外費用合計 | 23,693 | 12,363 |
| 経常利益 | 46,020 | 114,037 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 46,020 | 114,037 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,232 | 97,134 |
| 法人税等調整額 | 37,781 | △31,395 |
| 法人税等合計 | 43,013 | 65,738 |
| 四半期純利益 | 3,006 | 48,299 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,006 | 48,299 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 3,006 | 48,299 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,607 | 6,446 |
| 為替換算調整勘定 | △188 | △567 |
| その他の包括利益合計 | 2,418 | 5,879 |
| 四半期包括利益 | 5,425 | 54,178 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 5,425 | 54,178 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年6月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 46,020 | 114,037 |
| 減価償却費 | 16,153 | 30,335 |
| 長期前払費用償却額 | 5,178 | 10,257 |
| のれん償却額 | 435 | 43,885 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △1 | △35 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 11,009 | 1,062 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 3,267 | 679 |
| 店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少) | △3,384 | - |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,289 | △2,829 |
| 支払利息 | 9,055 | 11,857 |
| 為替差損益(△は益) | △20,474 | △3,816 |
| 補助金収入 | △1,466 | △1,062 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 78,500 | 315,686 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | 67,557 | △121,881 |
| 前渡金の増減額(△は増加) | △22,028 | △12,898 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 557 | △44,856 |
| 預り金の増減額(△は減少) | 1,520 | 5,259 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △25,109 | △88,570 |
| その他 | 7,961 | △22,839 |
| 小計 | 171,462 | 234,271 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,289 | 2,829 |
| 利息の支払額 | △9,397 | △12,272 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払額) | 18,273 | 3,896 |
| 補助金の受取額 | 1,466 | 1,062 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 185,093 | 229,786 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △42,638 | △2,231 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △10,000 | △3,750 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △85 | △15,018 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | - | 500 |
| 保険積立金の積立による支出 | △4,134 | △6,388 |
| 保険積立金の解約による収入 | 8,119 | - |
| 長期前払費用の取得による支出 | △780 | △9,600 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △1,024,201 | △47,896 |
| その他 | △1,020 | △599 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,074,740 | △84,983 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △50,000 | △1,015 |
| 長期借入れによる収入 | 1,330,000 | 100,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △137,903 | △191,055 |
| リース債務の返済による支出 | △2,023 | △1,409 |
| 長期未払金の返済による支出 | △1,760 | △1,283 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,138,313 | △94,764 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 21,312 | 5,588 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 269,979 | 55,626 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 839,214 | 679,990 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,109,194 | 735,617 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和5年1月1日 至 令和5年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------------------|---------------------------|-----------|-----------|--------------|----------------------------|
| | ライフ スタイル 提案事業 | メディア クリエイ ティブ 事業 | 不動産 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| バッグ | 554,910 | - | - | 554,910 | - | 554,910 |
| 財布 | 630,613 | - | - | 630,613 | - | 630,613 |
| 服飾雑貨 | 6,106 | - | - | 6,106 | - | 6,106 |
| その他 | 326,875 | 118,602 | - | 445,478 | - | 445,478 |
| 顧客との契約から生 じる収益 | 1,518,506 | 118,602 | - | 1,637,109 | - | 1,637,109 |
| その他の収益 (注) 3 | - | - | 13,845 | 13,845 | - | 13,845 |
| 外部顧客への売上高 | 1,518,506 | 118,602 | 13,845 | 1,650,954 | - | 1,650,954 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 1,518,506 | 118,602 | 13,845 | 1,650,954 | - | 1,650,954 |
| セグメント利益 又は損失 (△) | 169,387 | △25,319 | 2,234 | 146,302 | △104,409 | 41,892 |

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△104,409千円は、セグメント間取引消去36,000千円および報告セグメントに配分していない全社費用△140,409千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

メディアクリエイティブ事業セグメントにおいて、株式会社コリーから事業譲受によりのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、10,000千円であります。また、当第2四半期連結会計期間に株式会社トリプル・オーの株式を取得したことによりのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、50,827千円であります。

ライフスタイル提案事業セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間に株式会社BFLAT Holdingsの株式を取得したことよりのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、769,835千円であります。

なお、のれんの金額は企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和6年1月1日 至 令和6年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|------------------------------------|---------------------|---------------------------|-----------|-----------|--------------|----------------------------|
| | ライフ スタイル 提案事業 | メディア クリエイテ ィブ 事業 | 不動産 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| バッグ | 287,337 | - | - | 287,337 | - | 287,337 |
| 財布 | 981,488 | - | - | 981,488 | - | 981,488 |
| 服飾雑貨 | 668,427 | - | - | 668,427 | - | 668,427 |
| その他 | 353,072 | 147,524 | - | 500,596 | - | 500,596 |
| 顧客との契約から生 じる収益 | 2,290,324 | 147,524 | - | 2,437,849 | - | 2,437,849 |
| その他の収益 (注) 3 | - | - | 11,172 | 11,172 | - | 11,172 |
| 外部顧客への売上高 セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 2,290,324 | 147,524 | 11,172 | 2,449,021 | - | 2,449,021 |
| 計 | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 2,290,324 | 147,524 | 11,172 | 2,449,021 | - | 2,449,021 |
| セグメント利益 又は損失 (△) | 265,135 | △17,022 | 991 | 249,104 | △135,171 | 113,933 |

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△135,171千円は、報告セグメントに配分していない
 全社収益18,000千円および全社費用△153,171千円であります。全社費用は、主に報告セグメ
 ントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

4. 従来、顧客との契約から生じる収益を分解した情報を「バッグ」、「財布」、「その他」に
 区分しておりましたが、前第2四半期連結会計期間において株式会社BFLAT Holdingsの株式を取得し連結子会社としたことで、服飾雑貨に係る売上高の重要性が高まった
 ことから、前第3四半期連結会計期間より、上記の区分に変更しております。なお、前第2
 四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、当該変更後の区分に
 基づき作成したものを記載しております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間において株式会社BFLAT Holdings及び株式会社トリブ

ル・オーの株式を取得し連結子会社としたことに伴い事業セグメントの整理を行い、前第3四半期連結会計期間より、従来「皮革製品販売事業」としていた報告セグメント名称を「ライフスタイル提案事業」に、「メディア事業」としていた報告セグメント名称を「メディアクリエイティブ事業」に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称により作成しておりますが、報告セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

ライフスタイル提案事業セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に株式会社 immunity の株式を取得したことよりのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、35,389千円であります。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報）」に記載のとおりであります。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年6月30日) |
|-----------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益 | 2円64銭 | 42円37銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益(千円) | 3,006 | 48,299 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円) | 3,006 | 48,299 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 1,140,000 | 1,140,000 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。